



神宮次 秀樹 議員
(政友みらい)



中山間地域に計画されている 小さな拠点について

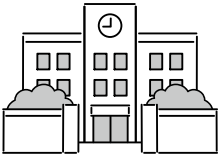
Q 旧三好小学校が閉校してから4年目となるが、小さな拠点の形成に向け、学校跡地を活用した先進事例として千葉県鋸南町の道の駅保田小学校を参考にすべきと考えるが、本市の見解を伺いたい。

A 総合政策部長

道の駅保田小学校については、廃校の活用のため、本市としても大いに参考にすべきと考える。一方で、そのプロジェクトの実現に際しては、地域住民が主体的に運営に関わっているということが成功の鍵であるとも認識しています。そうした事例等も十分に参考にした上で、ワークショップなどを通じ、地域住民の皆様が自ら主体的に地域課題の解決に向けた取り組みを行っていただけるよう支援していききたいと考えています。

その他の質問

☆ふるさと納税のこれまでの推移と今後の展望等について
☆多面的機能支払交付事業推進協議会設立について



早川 貴光 議員
(たかみつ)



第4次佐野市情報化計画について

Q マイナンバーカードを使ったコンビニ交付サービス等の誤交付等によって、市民の方がマイナンバーカードの利用に不安を感じているなかで、マイナンバーカードの活用における課題のうち、本市で解決が可能なものについて伺いたい。

A 行政経営部長

市民の方が抱くマイナンバーカードを活用することへの抵抗感については、システムやセキュリティへの懸念によるものもあり、市だけで払拭できるものではありませんが、登録した公金受取口座や健康保険証情報の確認については、現在本市で開設しているマイナポイント支援窓口等において実施しており、少しでも市民の方に安心していただけるよう、対応に努めていきたいと考えています。



種原 政夫 議員
(まさお)
(政友みらい)



認知症対策について

Q 本市がこれまでに実施した認知症に関する周知啓発の取り組みについて伺いたい。

A 健康医療部長

本市と佐野市医師会において平成28年に「佐野市認知症ケアパス」を作成し、毎年改訂しています。内容は認知症の症状や認知症に関する福祉サービスや問合せ先などをまとめたもので、認知症の段階に応じて活用いただけるものとなり、医療機関や地域包括支援センター等で支援のための指針として利用しています。

また、一般の方に向けては市のホームページで「佐野市認知症ケアパス」を公開し、活用いただいているほか、認知症について学べる認知症サポーター養成講座を開催しています。

これらの取り組みにより、認知症の症状や接し方などを知ってもらい、早期発見、早期治療につながるようなことができるよう、今後も周知啓発を積極的に行っていききたいと考えています。

その他の質問

☆水道事業について
☆通学路等における交通安全対策の取組について

